

令和3年度 高千穂町立田原小学校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン：知・徳・体のバランスのとれた田原っ子の育成

【評価】 4：よい、3：だいたいよい、2：もう少し、1：よくない

重点目標	評価項目		平均（4点満点）期待値：3.2					考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
			児童	保護者	委員	職員	平均		
確かな学力の定着	①	学校は、「わかる」「できる」授業を行い、学習内容を定着させ、学力を向上させようと努力している。	3.3	3.4	4.0	3.3	3.5	<p>「確かな学力の定着」に関する総合評価は、4点満点中「3.2」で、達成率80%である。</p> <p>①の「わかる」「できる」授業の実践は平均「3.5」で達成率87.5%であった。全国学習状況調査やCRT検査等の結果においては、全国平均及び県の平均を上回っているが、個人差の対応が課題である。</p> <p>②の「タブレットを活用した授業」に関する評価については、平均「3.6」で達成率90%であった。タブレットを活用した授業方法等の研修を今後も実施し、児童の活用技術の向上や個人差に応じた指導方法の工夫改善を行いたい。</p> <p>③の「読書」に関する評価については、平均「2.5」で達成率62.5%であり、期待値を大きく下回っている。職員の評価「1.0」に関しては、昨年度の図書貸出冊数と比較して「1割以上の減」を踏まえ、「よくない」と評価した。これは、令和2年度の4月22日からの1ヶ月間に行われた臨時休校期間中に、図書室の本を貸し出したことに対する減少値であるので、本年度の読書量と単純に比較はできない。児童は、昼休み時間に図書室で本を読んだり朝の読書活動や「読み聞かせ」に意欲的に取り組んだりしているため、次年度も図書委員会の取組や授業との関連を工夫させ、児童の読書量を増やしたい。また、保護者の「2.8」（達成率70%）に対しては、「家庭読書の日」を一層呼びかけ、親子で一緒に読書ができるよう、啓発したい。</p>	<p>① 保護者から「担任は、児童が伸び伸びと学習できる授業作りをしている。」「児童との会話でやる気を起こしている。」と聞いている。複式でのクラスもあり学力の定着においてたいへんと思うが、タブレット等を利用した学習によってより分かる授業に結びついていると思う。6年生の中学校進学に向け、小規模での環境と違うことを意識して指導してほしい。</p> <p>② どのクラスもタブレットを活用した授業で、児童との個別指導や対話的な学びがよくできている。また、タブレットを使いやすくするために机を拡張する器具が使用され、児童が机を広く活用できていてすごくよいと思う。今後は、タブレットの活用が当たり前となり研修も増えるが、児童のために頑張ってもらいたい。</p> <p>③ 学校での取組はよくなされていると思うが、家庭での取組に差があるように思う。読書が苦手な児童にも好きなジャンルがあるので、児童クラブと連携して推進する。図書ファイルを活用して読書をさせる機会が多くあり、図書室環境の工夫もよくできているが、定期的に本を読む児童と読まない児童との差がある。タブレットやスマートフォンの普及により活字離れが進んでいるのかもしれないが、読書による読み解く力は大切なので、学校で重点的に取り組んでもらいたい。</p>
	②	担任は、タブレット等を活用し、「分かる・できる」授業をしている。	3.4	3.6	4.0	3.3	3.6		
	③	学校は、児童が進んで読書をするように、読み聞かせや本を選びやすい図書室環境の工夫等努力している。	2.8	2.8	3.7	1.0	2.5		
豊かな心の育成	④	学校は、人権教育やよりよい人間関係づくりの推進に努めている。	3.2	3.3	3.7	2.6	3.2	<p>「豊かな心の育成」に関する総合評価は、4点満点中「3.0」で、達成率80%である。</p> <p>④の「よりよい人間関係」の推進は平均「3.2」で達成率80%であった。職員の評価が、他の評価者よりも低いのは、児童間のトラブルや日常の行動観察等から「十分に育っている」とは言い難い」と評価したためである。今後も全ての教育活動において、よりよい人間関係を築けるよう意識した指導を行う。</p> <p>⑤の「あいさつ」に関する評価については、平均「3.3」で達成率82.5%であった。ただ、評価委員の平均が、児童や保護者の数値よりも低いので、休日等に地域の方々にも積極的にあいさつをするよう、適時指導を行う。</p> <p>⑥の「メディアコントロール」に関する評価については、平均「2.6」で達成率65%であり、期待値を大きく下回っている。高千穂町の養護教諭部会が作成した「メディア利用のルール」を配付したり、学校保健委員会や「メディアの利用と子どもの健康」をテーマに講演を実施したりしているにもかかわらず、児童「2.4」（達成率60%）、保護者「2.2」（達成率55%）という結果を踏まえ、次年度の啓発活動を企画したい。</p>	<p>④ 小規模ならではの仲の良さもあるが、人間関係ではほぼ固まった関係で馴れ合いのためのトラブルもあるように思う。そのような小さなトラブルにも先生方が気付いて指導しているので、恵まれた環境だと思う。</p> <p>⑤ あいさつは、大きな声で行う児童が多いが、一対一の場面でできなかつたり、低学年の児童ができなかつたりする。また、声が小さい児童や場面もあるので、継続して指導してほしい。</p> <p>⑥ メディアについては、大人が思う以上に関わっているようで、人に対する言動にも影響を受けている。また、メディアコントロールは、ネットゲームや動画サイトの普及により管理が難しい部分もあるが、家庭でのルールづくり等、保護者と連携して対策案を考える場を作るとよい。</p>
	⑤	児童は、「おはようございます」「こんにちは」等のあいさつをよくしている。	3.6	3.4	3.0	3.0	3.3		
	⑥	児童は、「1日、1時間のメディアコントロール」を実践している。	2.4	2.2	3.0	2.6	2.6		
健やかな体の育成	⑦	児童の体力が、向上したと感じる。	3.4	3.4	3.3	4.0	3.5	<p>「健やかな体の育成」に関する総合評価は、4点満点中「3.2」で、達成率80%である。</p> <p>⑦の「体力向上」の推進は平均「3.5」で達成率87.5%であった。県の体力テストにおいて最上位の「A」判定が10名（25%）であり、体育の授業や昼休みの外遊びの成果がだと考えられる。</p> <p>⑧の「健康や安全に関する態度や習慣」については、平均「2.8」で達成率70%と期待値を下回った。児童のおし歯の治療率が「5割以上」であることを一例に、学校での指導のみならず、参観日や学校保健委員会、保健だより等を活用して家庭に啓発を行い、学校と家庭が連携しながら健康や安全に関する態度や習慣を育成したい。</p> <p>⑨の「危険予知や危機回避能力」の育成については、平均「3.4」で達成率85%であったが、保護者は「2.8」（達成率70%）と低い評価を示している。本校は、急傾斜地警戒区域に立地しているため、「不審者対応・火災・地震」の避難訓練のほかに、「土砂災害」に対する避難訓練も実施している。次年度は、これらの避難訓練のみならず、児童の「危機回避能力」が高まるよう日常的な手立てを講じ、実践を繰り返したい。</p>	<p>⑦ 体力テストで「A」判定が多いのは、運動が苦手な児童も努力をしたり、よく遊ぶ環境が整えられたりしているからだと感じる。先生方が昼休みに児童と一緒に遊んでいるのもよく影響していると思う。登下校時は、以前に比べて歩くようになったものの、もう少し歩いてもよいのではないかと。それにより、体力向上も図られ、危機回避能力も得られると思う。自宅が遠い児童もいるので難しいとは思いますが、体力向上を目的に、月に1～2回の「集団下校日」を設定すると、危機回避能力も向上するのではないかと。</p> <p>⑧ おし歯の治療は、家庭でも関心をもち、早い時期に実施してほしい。</p> <p>⑨ 自然災害への危機意識が低いので、適時適切に指導を行い、自然災害への危機意識も高めてほしい。</p>
	⑧	児童に、健康や安全に関する望ましい態度や習慣が身に付いてきている。	3.5	3.0	2.7	2.0	2.8		
	⑨	児童に、家庭内外での「危機回避能力」が高まっている。	3.6	2.8	3.3	4.0	3.4		
家庭地域との連携	⑩	児童に、家庭や児童クラブで宿題をする等、学習習慣が身に付いて（高まって）いる。	3.4	3.2	3.0	3.0	3.1	<p>「家庭地域との連携」に関する総合評価は、4点満点中「3.3」で、達成率82.5%である。</p> <p>⑩の「家庭や児童クラブでの学習習慣」に関する項目は平均「3.1」で達成率77.5%で期待値を下回った。児童や保護者の平均は「3.2」（達成率80%）以上を示しているものの、学校における宿題の提出率は90%で、全児童による毎回の提出はできていない状況である。家庭での見届けが十分ではない状況であるので、参観日や各種通信等を活用し、保護者との連携を図りたい。</p> <p>⑪に関しては、保護者から「3.6」（達成率90%）と高い評価を得た。これは、学校だよりを毎月発行して地域の回覧板で見ていただく取り組みを行ったり、学校のHPを毎日更新したりする等して、広報活動に努めた成果だと考える。</p> <p>⑫に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部からの参加を制限せざる時期があった。しかし、少人数という田原小学校の特性を生かし、本年度に計画した参観日を全て実施し、「田植え」や「稲刈り」、小学校単独の「運動会」、「もちつき」、「学習発表会」、老人クラブの方々と一緒に「花いっぱい活動」、「魚つかみ大会」等を行うことができた。次年度も感染対策を講じながら、参観日や各種行事等とおして地域の人材を活用し、さらに開かれた学校づくりに努めたい。</p>	<p>⑩ 児童クラブ等で宿題をする児童が多く、学習習慣が身に付いてきていると思う。</p> <p>⑪ 学校からの情報はたくさん発信されており、学校のHPも頻りに更新されていてよいと思う。学校からの情報を受け、家庭・地域として協力できることはやりたいと考えている人は多いと思う。児童数が減少しているものの、これまでの伝統的な学校行事を工夫・改善しながら継続し、地域の活性化及び住民に元気を与える場として、情報の発信を続けてもらいたい。</p> <p>⑫ コロナ禍で地域の方々との接する機会が少ない状況ではあるが、よい活動ができていた。また、河内地区の夜神楽での小学生の舞いは素晴らしかった。</p>
	⑪	学校は、各種通信やHP等で家庭や地域へ積極的な情報の発信をしている。	3.2	3.6	3.5	3.2	3.4		
	⑫	学校は、地域の人材や地域の素材等を授業に取り入れている。	3.3	3.7	3.3	3.0	3.3		
教職員の質の向上	⑬	学校の職員は、法令を遵守し、地域に信頼される行動を取っている。	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	<p>「教職員の質の向上」に関する総合評価は、4点満点中「3.6」で、達成率90%である。</p> <p>⑬の「職員が法令を遵守し、地域に信頼される行動を取っている」、⑭の「職員が田原小学校のために努力している」かどうかを評価する項目は、児童や保護者等から平均「3.7」（達成率92.5%）以上の評価を得た。これは、職員会議等で「信頼される教師」や「学び続ける教師」であり続ける大切さや意義について、職員同士が協議したり、管理職が指導したりしている成果だと考えられる。今後も、「児童を大切にできる教師」、「児童とともに伸びる教師」、「信頼される教師」を意識し、田原小学校のために努力する教師集団を目指す。</p>	<p>⑬ 先生方が、児童にとって何が大切かを考えて取り組んでいるが、家庭との連携がうまくいかないと効果が得られないので、家庭からの協力をしっかり得て欲しい。コロナ禍で保護者と職員との交流の機会がほとんどなく、担任以外の職員のことがよく分からないのが残念である。</p> <p>⑭ 先生方の指導はとてもよいと思う。授業を見ていて、児童がたのしく学習に取り組んでいる。</p>
	⑭	学校の職員は、授業や学校行事等、田原小学校のために努めている。	3.9	3.8	3.8	2.8	3.6		